

みらい

唐津赤十字病院広報誌



2015 Vol.06

M A Y

第6号

We hope a "Bright Future" 地域の明るい未来を願って



02 【お医者さんに聞きました!】



「こどもの病気」

04 【トピックス】新病院建設工事進捗報告

05 【活動報告】12月～2月

06 【各科紹介】脳神経外科・病理診断科

08 【おしらせ】初診時特定療養費改定



ご自由にお持ち下さい

TAKE FREE

お医者さんに
聞きました!



「こどもの病気」



こどもの病気の特徴

私たち小児科医は主にお子さん方の診療を受け持っています。生まれてすぐの新生児から15歳(中学生)まで、体重にして3kgから60kgくらいまで大きな幅があり、それぞれのお子さんの成長や発達に応じて診察や判断が必要です。

私たちが診療するお子さん方の病気の中でいちばん多くを占めているのは、人から人へ「うつる」、いわゆる感染症といわれる疾患です。お子さん方は、生まれてから4~5歳までの期間は成人に比べて免疫力が低く、頻りに風邪を引いたりたびたび発熱しがちです。原因の多くはウイルス感染と細菌感染ですが、お子さん方は小学校に上がる頃までに、少なくとも数十回以上はいろいろなウイルスに感染するといわれています。

症状ではやはり発熱が多く、その他鼻水や咳、のどの痛みなどの上気道症状や、嘔吐や下痢、腹痛などの消化器症状を伴うことが一般的です。多くの場合症状は数日間で改善しますが、全身状態の悪化や日常生活への差し障りが大きい場合は入院していただいて治療にあたることもあります。

感染予防

ウイルスが人から人へ感染する経路はいくつかあります。風邪やインフルエンザなど上気道感染症の多くは「飛沫感染」で、咳やくしゃみを吸い込んで感染します。冬場に流行するウイルス性胃腸炎(嘔吐下痢症)は「接触感染」で、吐物や便中のウイルスが人の手などに触れて拡がっていきます。ですから、感染しているお子さんに接触する際には十分な手洗いやうがいにより感染の広がりを抑えることができる程度可能です。

生活背景をみること

先ほどもお話したように、子どもの病気の多くは感染症です。「感染」という言葉からもお分かりのとおり、人から人へ伝染する病気です。その時期に流行している感染症を把握しておくことも大事ですし、お子さんの診察をする時は感染の経路を推測するためにいろいろお聞きします。「ご家族の中に同じような症状の方がいらっしゃいませんか?」、「ごきょうだいはいらっしゃいますか?」、「保育施設には通っていらっしゃいますか?」。保護者の方に伺ったことと診察でのご様子と併せるとより正確な診断ができ、迅速で正確な治療の助けになります。

入院が必要なときは?

小さな子どもさんは自分の今の症状や状態をうまく言葉にはできませんので、代わりに保護者の方にお話を伺います。体温や症状の様子をはじめ、「機嫌は良いか?」、「夜は眠れているか?」、「食事はとれているか?」など、日常生活がうまく送れているかどうかを伺ってお子さんの状況や状態を推測していきます。これらの経過を診察の時点での病気の程度と併せて判断し、お子さんの治療方針を立てていくよう心がけています。場合によっては検査の程度が悪くなくても日常生活の差し障りが大きいようであれば入院で治療させていただくこともあります。

予防接種

これまでお話しした感染症に対して、速やかに適切な治療を行なうことはもちろん大事ですが、いくつかの感染症は予防接種をおこなうことで「かかりにくくする」ことが可能です。公費でおこなわれる勧奨予防接種のヒブワクチン、肺炎球菌ワクチン、BCGワクチン、4種混合ワクチン、MR(麻疹・風疹)ワクチン、水痘ワクチン、日本脳炎ワクチン、2種混合ワクチンのほか、B型肝炎ワクチン、おたふくかぜワクチン、インフルエンザワクチンなども随時おこなっています。特に乳児期は接種すべきワクチンの種類や回数が多いので、保護者の方とよく相談して無理のない接種計画を立てるよう心がけています。また、ヒブ(インフルエンザ桿菌)と肺炎球菌は乳児期に感染すると、細菌性髄膜炎や重症の肺炎などを引き起こすことがあるので、これらのワクチンは出来るだけ早めに接種を始めたいと考えています。



唐津赤十字病院 小児科部長

辻 功介

プロフィール

profile

白石町出身
青雲高校卒業
佐賀医科大学医学部卒業
小児科医
平成22年より唐津赤十字病院小児科部長



正面玄関側(南西)からのイメージ

新病院建設工事進捗報告



❖ 平成26年12月29日工事状況

新病院では3種類の特性を持つ免震装置(アイソレーション)を組み合わせた“免震構造”を採用しています。12月には本館地下の基礎・免震層に、免震装置の設置が完了しました。

また工事進捗の早い東側(写真(左)右奥)では、1階床の配筋・型枠工事に着手しています。

本館周囲の盛土は、地下擁壁(外壁)工事完了にともない埋戻し作業が進んでいます。

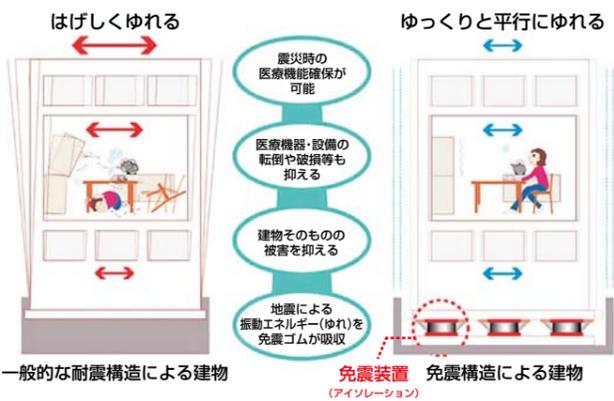
免震構造(免震構法)とは?

建物の強度を増して地震に対抗する耐震構法に対して、地震による振動エネルギー(ゆれ)を直接建物に伝えないよう考えられたのが免震構法です。

この免震構法では、建物そのものの被害を防ぐだけでなく、医療機器・設備の転倒や破損等も抑えることができ、地震時の医療機能確保が可能となります。

当院ではこの免震構法をはじめ、患者様の安全はもちろん、災害時にも医療機能を発揮できる病院づくりを目指しています。

資料等参考:株式会社ブリヂストン(当院採用免震装置メーカー)



❖ 平成27年3月16日工事状況

本館周囲の盛土はすっかり埋戻しされ、1階床のコンクリート打設も完了しました。

1階柱・壁・2階床の配筋・型枠工事が進んでおり、作業の完了した東側(写真(左)右奥)から、コンクリート打設にとりかかっています。

エネルギー棟(電気・機械設備)および放射線治療棟(RI・リニアック)についても、基礎工事を予定通り順調にすすめています。

これからさらに工事が活発になりますが、安全管理と周辺地域への配慮を心掛けて工事を進めています。



工事期間中、近隣住民の皆さまには大変ご迷惑をおかけいたしますが、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

たすけあいを、忘れない。 『海外たすけあい』街頭募金

12月
20(土)

平成26年12月20日(土)、『海外たすけあい』の街頭募金が行われました。唐津では、イオン唐津店にて当院の職員、JRCの学生さんや奉仕団のボランティアの方で街頭募金を行いました。たくさんの方に足をとめていただき、募金に協力していただきました。

募金総額は49,520円でした。ご協力いただいた皆様、ありがとうございました!



職員みんなの戦略共有を目指す! バランス・スコアカード全体説明会を開催!

1月
13(火)

当院では、全職員が病院の戦略や目標等を共有し全職員参画型の病院経営を実現させるため、2014年度にバランス・スコアカード(以下BSC)を導入しました。

説明会では、院長が病院戦略を発表し、経営企画情報課による病院のスコアカードの紹介がありました。この説明会には、全役職者やBSCプロジェクトチームをはじめ、たくさんの職員が参加しました。

病院BSCの戦略テーマである「地域連携を強化して紹介患者を確保する」、「経営の健全化を図る」、「医療の質を向上させる」へ着実に近づけるよう今後共々精進してきたいと思います。



ACTIVITY REPORT 活動報告 12月~2月

東日本大震災を忘れない! 佐賀県原子力防災訓練を実施!

1月
24(土)

県内各地で原子力防災訓練が実施され、二次被災者医療機関である当院でも防災訓練が行われました。

訓練では、玄海原子力発電所にて放射性物質汚染を伴う負傷者が発生したことを想定し、救急車で搬送された負傷者の汚染検査、処置、汚染部分の除染、内部被ばくの検査などを行いました。普段とは違った環境の中でいかに適切な処置や対応ができるかどうかの確認ができ、二次被災者医療機関としての役割や重要性を再認識しました。

今後も当院では、災害拠点病院及び二次被災者医療機関としての機能強化に努めてまいります。



口腔ケアは大事です! 第18回地域がん診療連携拠点病院 公開講演会を開催

2月
6(金)

第18回地域がん診療連携拠点病院公開講演会に院内外109名の参加がありました。

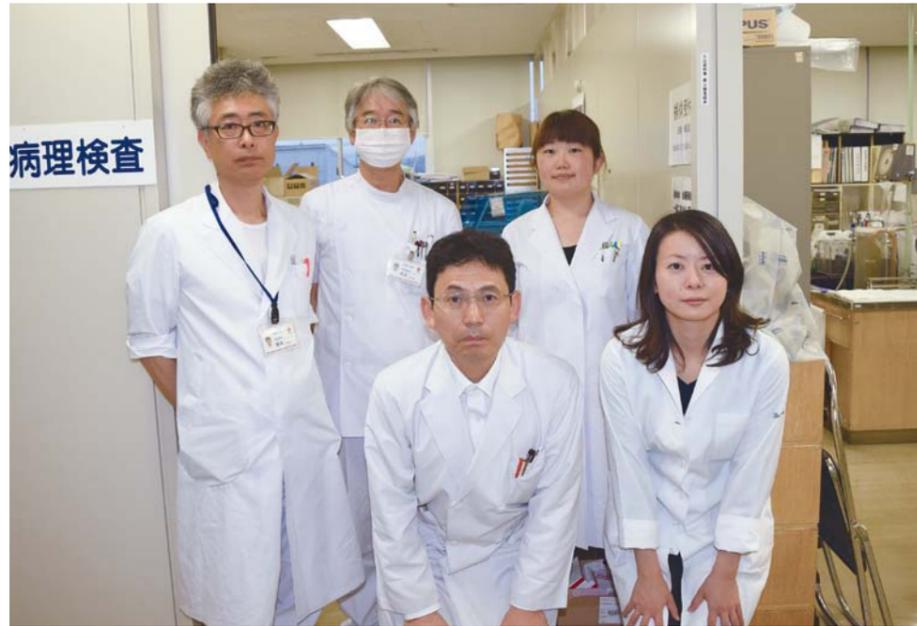
「好生館における医科・歯科連携の実践」について佐賀県医療センター好生館のがん統括診療部長佐藤清治先生にご講演いただきました。周術期や化学療法における口腔ケアの重要性について、また、歯科の先生方との連携の実践についてわかりやすくお話いただきました。当日は院外の歯科の先生29名にもご参加いただきました。

当院でも口腔機能管理プロジェクトチームを立ち上げ、唐津東松浦地区歯科医師会の先生方と話し合いを行い、周術期の口腔ケア体制を構築するため、医科・歯科連携における相互の情報提供書式を検討中です。



病理診断科

診療科の紹介



病理診断科の紹介

病理診断科では医師3名(常勤1名、非常勤2名)、検査技師5名のスタッフで業務を行っています。主な内容は、消化管をはじめリンパ節など人体の各部位から採取された組織の病理診断です。また、乳腺や甲状腺、子宮、腹水・胸水、痰、尿など様々な検体の細胞診を行っています。組織診・細胞診の結果によっては(悪性の有無など)、それぞれの病態に応じた手術が各科ごとに行われ、当科では術中の組織診・細胞診および摘出された臓器の最終的な病理診断を行っています。

診断方法について

採取された検体の固定・塗抹、染色等の処理を行ったあとプレパラート標本を作製し、顕微鏡を用いて組織や細胞に異常がないか確認することによって形態学的診断を行っています。近年では、形態学的診断に加えて免疫組織化学的診断がさらに重要となっており、神経内分泌癌などの特殊な癌や悪性リンパ腫では免疫組織化学による判定が必須です。当科でも平成25年より免疫染色を効率よく行えるように自動免疫染色装置を導入しています。



自動免疫染色装置

みなさまへ

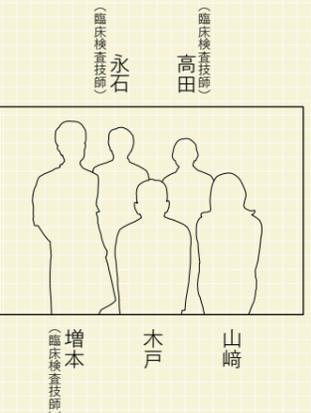
最近では、乳癌をはじめ胃癌、大腸癌、肺癌など様々な癌の遺伝子異常に基づいた新しい化学療法薬が開発されてきています。また、癌それぞれの特徴をより明らかにして治療に結び付けようと模索されています。当科でも乳癌では遺伝子異常やホルモン異常を判定する免疫染色を行っています。胃癌や大腸癌、肺癌で臨床の先生が必要と判断された場合には、遺伝子異常の検査を外注で依頼しています。不幸にして病院で亡くなられた方には、死因の究明をめざし病理解剖をさせて頂く場合があります。この際には、生前の意思やご家族の承諾を得てから行うことになっています。

スタッフ紹介

木戸 伸一 病理診断科副部長
(平成6年/病理学)

甲斐 敬太
(病理診断科 非常勤)

山崎 真希子
(病理診断科 非常勤)



臨床検査技師 増本 木戸 山崎

診療実績

平成26年1月～12月 DATA	
組織診断	2324例
術中迅速組織診断	125例
細胞診断	3140例
術中迅速細胞診断	26例
病理解剖	14例



脳神経外科の紹介

脳神経外科は科の性格上救急患者の占める割合が多く、例年入院総数の約70パーセント程度が救急で来院される患者さんです。主に脳卒中や頭部外傷の診療が多数を占めています。唐津東松浦地区を中心とした佐賀県北部の脳神経外科医療の最後の砦となるべく、日夜努力して参ります。

主な疾患

- 脳梗塞** …… 脳の血管が詰まってしまうため、そこから先の脳に血液が流れなくなり脳の一部が死んでしまう病気です。高血圧、糖尿病、脂質異常という生活習慣病による動脈硬化が原因である場合が多くみられます。
- 脳出血** …… 脳の血管が破綻し脳内に出血が起こる状態です。原因の多くは高血圧によるといわれています。脳出血に関しても、高血圧や糖尿病、脂質異常といった生活習慣病による動脈硬化が原因となります。
- くも膜下出血** …… 脳の血管にできたコブ(動脈瘤)が破裂することで起こる場合がほとんどです。この病気の特徴は突然起こるひどい頭痛です。くも膜下出血を生じると多くの人が命を落とすか重度の後遺症を残し、元通りの生活に戻れる人は3~4割程度しかいない恐ろしい病気です。

みなさまへ

脳卒中とは、脳の血管が突然異常を来して生じる病気の総称であり、多くは手足の麻痺や言語障害等の症状が急激に出現して完成します。そのため、脳卒中で生命や身体の機能を失わないようにするためには、普段から生活習慣に注意を払うことが最も重要です。高血圧、脂質異常、糖尿病、喫煙、大量飲酒等々の生活習慣を見直し脳卒中にならないよう予防に努め、元気で長生きしましょう。



MRI

脳神経外科

診療科の紹介

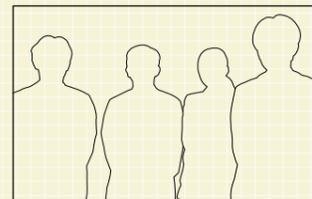
スタッフ紹介

鈴山 堅志 脳神経外科部長
(平成7年/脳血管障害、脳神経外科全般)

岡本 浩昌 脳神経外科副部長
(平成8年/脳神経外科一般)

高松 裕一郎 医師
(平成19年/脳神経外科全般)

中城 博子 医師
(平成24年/脳神経外科全般)



鈴山 高松 中城 岡本

診療実績

平成25年度 DATA	
外来患者延数	3,736人
入院患者延数	410人
手術件数	202件

各科紹介

07

各科紹介

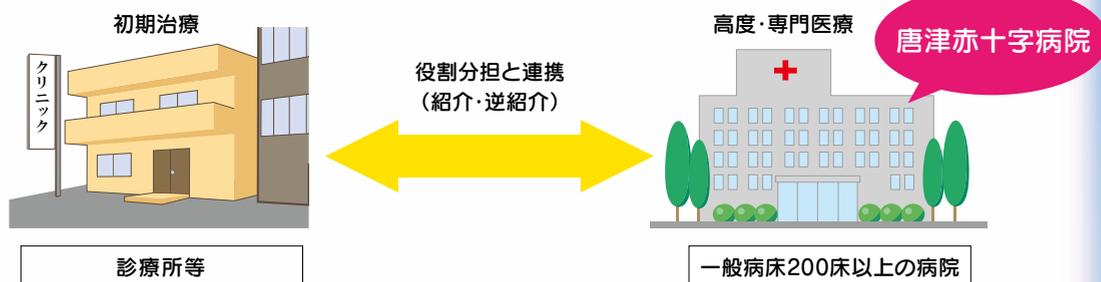
06

初診時特定療養費 改定のお知らせ

当院を受診される方で、他の医療機関からの紹介状を持参せず、直接来院された患者様につきましては、医療費の他に、初診時特定療養費1,620円(税込)をいただいております。この初診時特定療養費を平成27年4月1日から2,700円(税込)に改定させていただくことになりました。

医療機関にはそれぞれの役割があります！

適切な医療提供体制の確保のため、日常の診療は「かかりつけ医として診療所等で行い、専門的な、高度医療は大きな病院で行う」ことが推進されています。



そのための制度として、以下のようなものがあり、当院もその対象となっています。

1 地域医療支援病院

地域の病院、診療所などを後方支援するという形で医療機関の機能の役割分担と連携を目的に創設された制度で、都道府県知事によって承認されます。

2 特定療養費(初診時)

他の医療機関などからの紹介状なしに「一般病床200床以上の病院」において初診で受診した場合は、より高度な医療を求めているという観点から、通常の医療費のほかに病院が定めた金額を徴収できるというものです。

唐津赤十字病院の役割は？



重症患者や救急患者へ検査・入院・手術など
**高度で専門的な治療を行う
急性期病院です。**

※地域の医療機関との連携を密にし、紹介外来・予約外来を推進し、当院での治療が必要な方を確実に受け入れられる体制の構築に取り組んでいます。

改定の理由は？

地域における医療機関の役割分担を一層推進し、地域の医療体制を確保するためです。

**皆様のご理解・ご協力
をお願いします。**



唐津赤十字病院

日本赤十字社

〒847-8588 佐賀県唐津市二太子1-5-1 TEL.0955-72-5111

唐津赤十字病院

検索



【編集・発行】 唐津赤十字病院広報推進室
【表紙のひと】 検査技術課 鶴田さん、霧田さん

✿ 編集後記

暖かくなり、過ごしやすい季節となりました。
春は「新しい、始まりの季節」だとよく言われます。
入学や入社などで新しい環境となる方はもちろん、何も環境が変わらない方は何かを1つ始めてみてはいかがでしょうか？
広報誌「みらい」を作成しているメンバーも少し入れ替わり、新しい雰囲気となりました。
これからも病院の様々な情報やいろんな病気について紹介していきますので、今後よろしくお願いたします。

広報推進室 池上 純子